

**アラムシロガイ**

砂の中から出てきたアラムシロガイ。ニヨキッと伸びる1本のアンテナをゆらゆら揺らしながら獲物を探します。

**次々に集まるアラムシロガイ**

数分でカタクチイワシに群らがるアラムシロガイ。臭いをたよりに次々に集まってきて、あつという間に食べてしまっています。

**実験後**

1時間もしないうちに骨だけになってしまったカタクチイワシ。

(地域活動支援センター)  
馬場田 真一

## 干潟の小さな掃除屋さん

生き物を大切にしてきれいな環境を



⑫ アラムシロガイ

大きさは約1.5センチほどで、貝殻にムシロのような模様があることからこの名前がつけられたそうです。ニヨキッと伸びる一本の水管がアンテナとなつており、左右にゆらゆら揺らしながら獲物を目撃します。臭いをたよりに次々に獲物に群らがり、あつという間に食べつくしてしまいます。

写真は、子どもたちと観察に訪れた干潟での実験のようすです。干潟にカタクチイワシを置いて、アラムシロガイの行動を観察します。水の流れに沿って下流へと臭いが伝わると、泥の

と臭いが伝わると、泥の

と臭いが伝わると、泥の